

2008-2009 Young Professionals Steering Committee Meeting
2008 年 - 2009 年 YPF ステアリングコミティ

(株)建設技研インターナショナル
FIDIC-YPF ステアリングコミティ 中島 隆志

1. プログラムの概要

- (1) 日時：2008 年 9 月 7 日 11 時（現地時間）
- (2) 場所：Quebec City および Skype、Tleconference
- (3) 議長：Mr.Alex Eyquem

2. 主な内容

2008 年 - 2009 年の YPF ステアリングコミティは 16 名で、うち私を含める 5 名が新たなメンバーの構成である。ケベック大会において 2007 年 - 2008 年の Chair であった Mr.Stump から 2008 年 - 2009 年の Chair をになう Mr.Eyquem に引継ぎが行われるとともに、新期の第一回目の会議として主に下記の点について議論がされた。なお、YPF の会議は毎月 1 回行われることとなっている。私は業務の関係上、カンボジアから Skype での出席となった。

Skype（IP 電話）による会議であったがカメラがなかったため残念ながらケベックの会場の様子や参加者の顔ぶれを拝むことはできなかったが、通信環境は極めて良好でありこのようなツールの恩恵を直に感じる機会であった。前 Chair の Stump 氏は冒頭で「直接顔を合わせることによって今後の活動が変わる」との旨の発言をされていたが、彼のこの 1 年間の経験から来るものであろうが、共感するところがあった。

議題としては主に、(1)メンバー紹介、(2)London2009、(3)Newsletter、(4)今期の活動、があり、活発な意見が交わされた。

- (1) メンバー紹介、においては新たに加わったメンバーが紹介された。新たに加わったのは中国から 2 名、カナダから 2 名、日本から 1 名とのことであった。
- (2) London2009、においては London 大会に向けた YPF フォーラム等のプログラムの内容、進め方、等について意見が交わされた。London 大会では ACE が YPF を対象にしたテクニカルツアーを考案しており、これが実現できるかどうかチャレンジであるという点において共通的な認識を持った。前 Chair の Stump 氏によると 11 月頃には最初の Draft が必要だということであり、早速実質的な活動が始まる様子であった。また、若手を対象とした FIDIC のトレーニングプログラムである YPMTF について、そのベネフィットを明らかにする必要があることが、経験者等から発言があった。
- (3) Newsletter、については、私自身の不勉強もあるが FIDIC の Newsletter とは別に YPF のものがあり、それをどのように改良したらいいのかという点がこれまでのメンバーを中止に話し合われた。基本的に若手に対して FIDIC というものを知っても

うことを念頭においていることからアクセスのしやすさ、情報のストック等から Web 上で常に関連できる形がよいとの意見が出され、合意を得た形となった。また、ネット上の議論の記録等をいつでも見られるように、別のサイトを構築する提案もなされた。

- (4) 今期の活動、についてはまずは前 Charir の Stump 氏に対し、彼の経験から得た教訓をまとめ SC に提案することを依頼し、同士も快諾した。会議の時間が限られていたため、おそらく主たることは夕刻に用意されている場で意見交換がなされるであろうが、具体的な点が提案されることが期待される。この場で、Skype を通じた会合が第一木曜日に設定されることを各委員が確認をした。なお、会合の時間については委員それぞれの時差等を勘案して適当なところを Alex 氏が提案することとなった。次回は 10 月 2 日となる。
- (5) ASPAC の YPF の立ち上げが今大会で提案されることもあり、FIDICYPF とのかかわり等について大会の場で十分な意見交換がなされることが期待される。冒頭に Stump 氏が述べていたとおり、テクノロジーにより遠隔地からの会議の出席は可能であるが、Face to Face のコミュニケーションによるものより勝るものはおそらくない。私は今期から参加することになり、今回が最初の会議であったが、語学も含めコミュニケーションの重要性を痛感する場だった。SC のメンバーはおそらく 20 台～30 台前半がほとんどであり、日本としても場を知るという観点からも若手をこのような場に関与することは有益なことであらうと感じた。

Young Professional Open Forum
ヤングプロフェッショナルオープンフォーラム

(株)日水コン 東京下水 2 部 1 課
国際活動委員会 赤坂 和俊

日時：2008 年 9 月 8 日（火）16:00-17:00

場所：Salle de Bal, Chateau Frontenac

参加者：約 40 名

議長：Richard Stump (USA)



1. 概要

まず、議長より、YPF の背景と歴史、その目的、運営委員会（Steering Committee：日本から中島隆志氏（建設技研インターナショナル）が新たに参加）、今回のプレゼンテーションの概略等について、説明があった。

その後、以下の 4 カ国の YP（Young Professional）の活動報告 + ASPAC（Asia-Pacific group of FIDIC Member Associations） YPF 設立の提案に関する報告があった。

中国

ノルウェー

日本（ASPAC 委員会）

カナダ

オランダ

私の報告では、FIDIC YPF と ASPAC YPF の関係等について説明し、この会議において、承認、賛同及び協力（サポート）を得ることを目的としており、事前に議長 Richard Stump 氏へ、山下事務局長からプレゼンの趣旨を説明していたこともあり、理解が得やすい状況であった。

2. おわりに

この場で、ASPAC YPF 設立の報告ができたことが非常に重要であり、課題は色々あるにしても、まずは成功と言えよう。

FIDIC YPF ですら、実際にヤングプロフェッショナルが活動できる状況までこぎつけるのに約 4 年間かかっている、という。

その意味では、一步が大事である。

最後に、ノルウェーと私以外のプレゼンターは、予定時間の 7 分を大幅に超過（中国はあろうことか 20 分以上も）し、60 分ではとても議論できる状況ではなかったのが残念であった。

以上

ASPAC-YPF (Young Professional Forum)

YP Activities for Asian-Pacific Region

Kazutoshi AKASAKA
Nihon Suido Consultants Co.,Ltd
ASPAC Secretariat (JAPAN)

What is ASPAC ?

- ✓ An Asia-Pacific regional body of FIDIC member associations
- ✓ Established in 1977
- ✓ Composed of 19 associations



Proposal of ASPAC-YPF

YPF Activities for Asian-Pacific Region

- ✓ European/American CE firms have the advantage for "Globalization" with their language of English
- ✓ Asia/Pacific countries have different culture from European countries and America.
- ✓ Enhanced Information Exchange and cooperation among Asia/Pacific countries are necessary.
- ✓ Promotion of YPs' Activities would play an important role in Asian/Pacific countries.

Establishment of ASPAC-YPF (proposal)

1) Operation Department

Implement YPs' activities, planning, and feed back outcomes to ASPAC MAs as well as to FIDIC-YPF for mutual interests.

2) Research Department

Collect information about challenging issues, update and feedback YPF activities, study features of CE industry in ASPAC countries, etc.

3) Education Department

Organize and implement training seminars, produce education materials based on FIDIC tools, etc.

Implementation of ASPAC-YPF

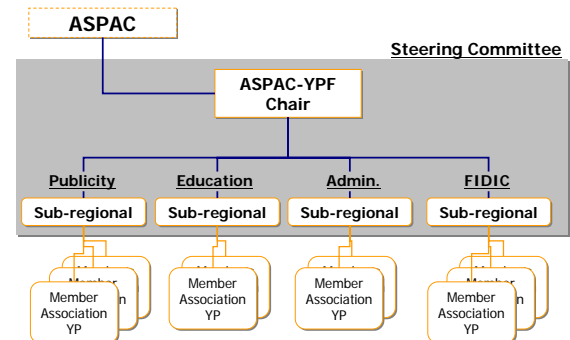
Steering Committee

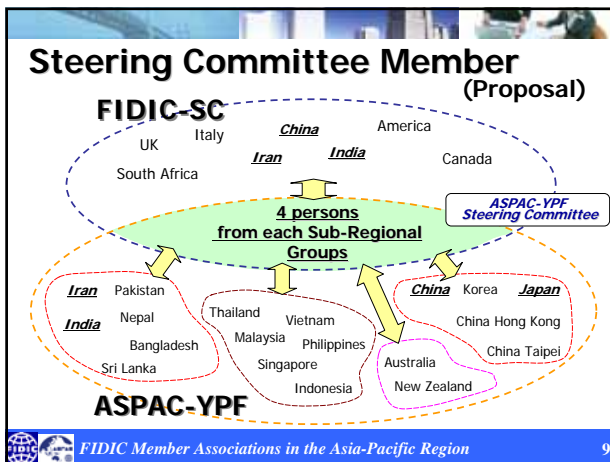
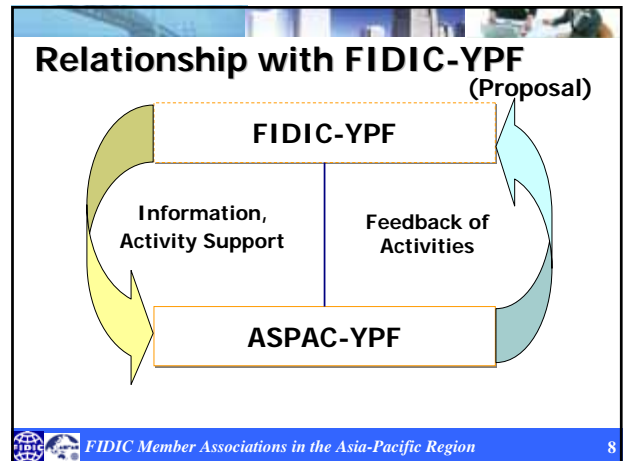
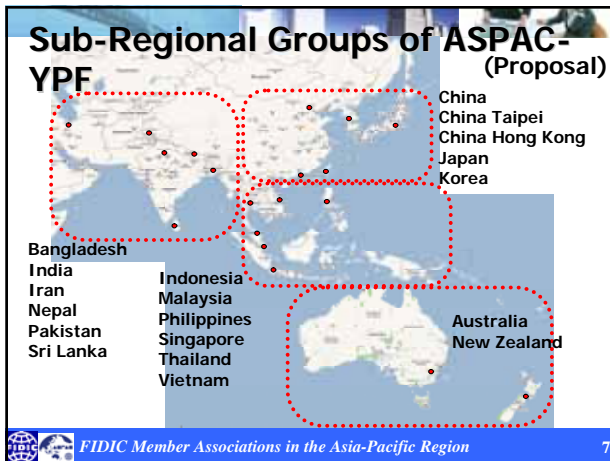
- 1) Publicity
- 2) Education,
- 3) Administration
- 4) FIDIC activity

Meeting

- ✓ 4 times/year, TV system or "Skype" system
- ✓ Topics
 - ✓ Update of CE or YPs' activities in member countries
 - ✓ Operational issue
 - ✓ Election of S/C member
 - ✓ Measures for improving natural and build-environment
 - ✓ Preparation for FIDIC annual conference
 - ✓ Liaison between ASPAC-YPF and FIDIC-YPF
 - ✓ Annual plan, report
 - ✓ Education programme for YPs

Organization of ASPAC-YPF





Thank you for your Attention.

FIDIC Member Associations in the Asia-Pacific Region 10